

市の決算概要をお知らせします

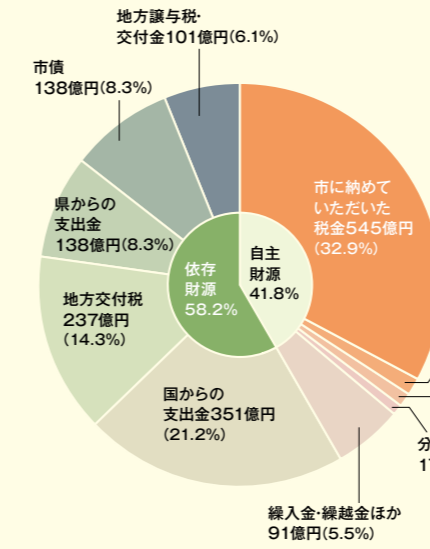
市では毎年、皆さんが納めた税金などがどのように使われたかを公表しています。令和元年度一般会計、特別会計および企業会計の決算の概要をお知らせします。

一般会計

令和元年度は、前年度に比べ歳入は44億9千万円の増、歳出は54億6千万円の増となりました。

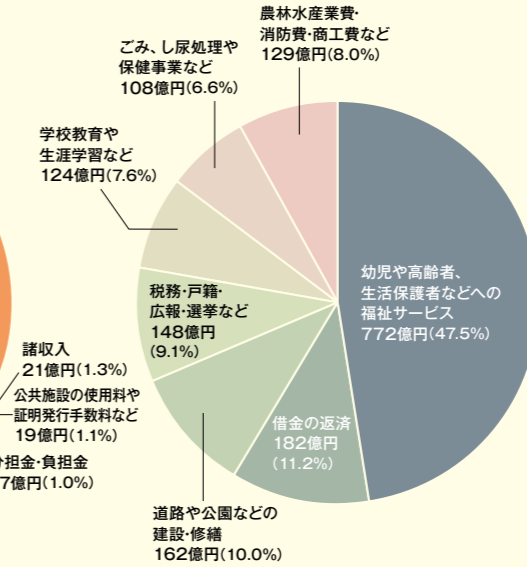
【歳入総額】1,658億円

歳入は、市税や基金繰入金などの自主財源が26億4千万円の増、国庫支出金や県支出金などの依存財源が18億5千万円の増となりました。



【歳出総額】1,625億円

歳出は、幼児や高齢者、生活保護者などへの福祉サービスが半分近くを占めています。



※数字は端数処理しており、数値に整合しない部分があります。

特別会計

(単位:億円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額
公営住宅建設資金	14.6	14.5
国民健康保険	430.9	429.9
後期高齢者医療	48.7	48.5
公園墓地	2.9	2.9
卸売市場	7.2	7.2
用地取得	2.6	2.6
母子父子寡婦福祉資金	0.4	0.1
介護保険	342.4	339.2
公設合併処理浄化槽事業	3.5	3.5
宅地造成事業	2.7	2.5
公債管理	211.5	211.5
合計	1,067.9	1,063.0

※数字は端数処理しており、数値に整合しない部分があります。

企業会計

(単位:億円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額
水道事業	140.7	126.7
工業用水道事業	0.2	0.2
公共下水道事業	208.3	205.7
農業集落排水事業	10.9	10.7
田野病院事業	11.6	11.0
合計	371.7	354.3

※数字は端数処理しており、数値に整合しない部分があります。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、特定収入(保険料など)を財源とする会計

企業会計

上下水道や病院など、民間企業のように事業の収入で費用を賄う会計

わたなべ あいか
渡辺 愛香 さん
宮崎市ぎょうざ協議会会長

キラリ!

輝く次世代の
宮崎人を応援

「ぎょうざ」で地域を 盛り上げたい



東京都にある「焼き餃子協会」は8月8日、今年6月までのぎょうざ購入額、頻度ともに宮崎市が日本一と発表。これを追い風にしたいと、9月23日に「宮崎市ぎょうざ協議会」が発足され、その初代会長に選ばれたのが、渡辺愛香さんです。「ぎょうざの消費日本一」という市民の認識はまだ薄いと思う。もっとアピールして、年間を通しての日本一を目指したい」と意気込みます。渡辺さんは株式会社屋台骨でぎょうざ部門を担当し、統括マネージャーとして働いています。実家もぎょうざ店だった渡辺さんは、親から受け継いだ技術を生かし、ラーメンが主力の同店で、スーパードッグなどのぎょうざの卸を広げ、販売を伸ばしてきました。2年前からは、会社で「高鍋ぎょうざフェス」などに参加。2万人以上の来場者を見て、県民の

興味関心の高さを実感しました。昨年から、市内の消費盛り上げのために「ぎょうざの日」を設定。業者に呼び掛けて、毎月3日は参加店ごとにサービスする活動も始めました。「宮崎ぎょうざは地元産食材にこだわっているところも多い。消費が増えると、生産者にも還元できる。また、ぎょうざは宮崎というイメージが全国に広まると、観光資源にもなるはず」と期待を込めます。新しい宮崎の魅力が、生まれつつあります。

「ぎょうざフェスの開催はもちろん、クラウドファンディングにも挑戦するなど、任期中は何かと仕掛け続けていきたい」と渡辺さん。

以上の人を見て、県民の



協議会の総会で。業者を中心にした正会員は25社。ニラ農家などの賛助会員もいる。